

日本語教育演習 (その2)

2単位 4年(後期)

大石 寧子・教授/国際センター

【授業目的】実際の教室で学生を対象に日本語教育の実習を行う。効果的な教授方法やクラス運営を学ぶ。様々な教材=リソースについても確認する。

【授業概要】日本語教育の演習

【キーワード】演習, 実習

【先行科目】『日本語教育方法論Ⅰ』(1.0), 『日本語教育方法論Ⅱ』(1.0), 『日本語教授法Ⅰ』(1.0), 『日本語教授法Ⅱ』(1.0)

【履修上の注意】受講者は、日本語教育方法論及び日本語教授法、あるいは日本語教育関連の授業を既に受講し、単位を取得していることが望まれる。内容上多くの人数受け入れが不可能なこともある。受講前に必ず担当者と面談をすること。また授業時以外にも活動することを念頭にしておくこと。

【到達目標】

1. ガイダンス
2. 教案の作成(1)

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 教案の作成(1)
3. 教案の作成(2)
4. 実習計画
5. 日本語教育実習(1)
6. 日本語教育実習(2)
7. 日本語教育実習(3)
8. 日本語教育実習(4)
9. 日本語教育実習(5)
10. 日本語教育実習(6)
11. 日本語教育実習(7)
12. 日本語教育実習(8)
13. 日本語教育実習(9)
14. 日本語教育実習(10)
15. 日本語教育実習(11)
16. 振り返り

【成績評価】本授業の成績評価は、出席・授業への取り組み、教案の作成、実習の内容などを総合して行う。

【再試験】無

【教科書】授業中に指示する

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218922>

【連絡先】

⇒ 大石寧子(国際センター 088-656-9875 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 金曜日9:30~12:00 但し事前に連絡があれば、他の曜日・時間でも対応します)

【備考】授業時間外にも活動を行うため、受講生と適宜方法内容について相談します。